

みんなで考えよう！

# 蒲郡のまちづくり

～都市計画マスタープラン～



そういえば、住民会議で、「まちづくりの合言葉」を決めるって言ってたね。

そうなんじゃ。住民会議で話に出たアイデアやキーワードを、都市計画マスタープランの各地域別構想に反映するため、「まちづくりの合言葉」を考えたんじゃ。

それは、住んでる人の素直な気持ちが入った、すばらしい合言葉になったぞん。

どんな合言葉だったの？  
ぜひ聞かせてよ。  
蒲郡（海側）は、海やあたたかさ・支えあいなどのキーワードから、『潮風が豊かな心支えあう私も好

きな「まち」だから」ってやつじゃ。ロマンチックな合言葉だのん。蒲郡（山側）や塩津は、自然やゆとりあるまち、人とのつながりなどのキーワードから、それぞれ『自然と文化、調和のとれた心豊かなまちづくり』、『人、自然、塩津っ子 地域にいやされる温かさ』に決まったんじゃ。

大塚では、豊かな自然を残し、安全でにぎわいのあるまちにしたいと、『人と自然が共生し、夢と希望がいっぱい

の住みたくなるまちづくり』という合言葉になったぞん。

すばらしい合言葉だね。

この合言葉で、いい町をつくっていけるといいね。

ほうだのん。市民一人ひとりが「まちづくりの合言葉」に沿って、行政と一緒にまちづくりをしていきや、蒲郡はいいまちになるぞん。

そういやあ、三谷や形原・西浦も合言葉を決めたんじゃが、それは今度教えるでのん。  
計画開発課 ☎66◆1142



学芸員 小林龍二

飼育員はなんでも屋さん

皆さん、こんにちは！

今号から水族館のこぼれ話や旬な話題などを学芸員の生の声でお伝えしていきます。

ところで、皆さんは水族館の人という「魚に餌をあげる人」と思っていますか。

いえ、いえ、実はそれだけではありません。

水族館の相手は生き物、そして、その魅力を皆さんに伝えるのが仕事です。だから、そこで働いている私たちの仕事は多種多様です。

例えば、食事を用意する調理員であったり、病気を治す

ちになります。

しかし、皆さんに喜んでもらい、楽しんでもらいたいという気持ちがパワーを生み出し、こうした毎日の仕事をこなすことができます。

さて、竹島水族館は今年で開館50周年を迎えます。これは水族館ではかなりの老舗で、全国70ある水族館中1、2位を争う古さです。今後この水族館を蒲郡の宝の一つとして大切に、もっと盛り上げていきたいと思えます。